



とくしま医療センター西病院だより

独立行政法人国立病院機構とくしま医療センター西病院
四国神経筋センター

第63号



理念 私たちは、病気を持つ人々の立場に立った安全かつ良質な医療を提供します

- 看護の日
- 「健康セミナー」講座
- ふれあい看護体験の開催
- 在宅重症難病患者へ向けた非常用発電機の貸出について
- 医学生の臨床実習(徳島大学医学部)
- 彼がパラスポーツを辞めない理由
- 外出行事
- 吉本お笑いライブ2024を開催
- のど自慢大会2024を開催
- 川柳集「のうめ」
- ファイヤーストーム
- 吉野川市役所にて作品展を開催

西病院の診療機能

●一般医療 地域医療に貢献します

- ◎内科
- ◎外科
- ◎脳神経内科
- ◎整形外科
- ◎消化器内科
- ◎リハビリテーション科
- ◎放射線科

●四国神経・筋センター

神経・筋疾患における四国の基幹医療施設です

- ◎神経・筋疾患
- ◎筋ジストロフィー
- ◎パーキンソン病・神経変性疾患

●総合リハビリテーションセンター

多種の疾患に対応して参ります

- ◎ロボットリハビリテーション

●臨床研究部

四国で唯一の神経・筋領域の研究部です

「看護の日」イベントを開催しました

教育担当看護師長 郷司 由加里

「看護の日」は、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を国際看護の日としたことが由来と言われています。日本においても、看護や健康に対する国民の意識や地域の健康への関心を向上させるために、5月12日を「看護の日」と制定しています。

令和6年5月15日(水)、とくしま医療センター西病院でも『地域とつながる看護』をメインテーマに「看護の日」のイベントを開催しました。外来患者さんや地域住民の方々がご来場くださり、血圧測定や骨年齢測定、脳年齢・血管年齢テスト、阿波踊り体操を体験しました。また、脳活トレーニングとして間違い探しにもチャレンジし、笑顔があふれ、健康について地域住民の皆様と一緒に考える機会となりました。



「健康セミナー」講座を終えて

糖尿病看護認定看護師 山添 奈緒子

令和6年7月3日(水)に鴨島公民館で行われた生涯学習講座「健康セミナー」にて、「血糖値スパイクを知ろう～体にやさしい食べ物を正しい食べ方で～」というテーマで講演をさせていただきました。健康セミナーの講師は、糖尿病看護認定看護師を取得してから毎年依頼をいただき、私にとって市民の方々と関わりを持てる貴重な機会であり、大変ありがたく思っています。今回の参加者は40名を超え、市民の方々の糖尿病に関する興味関心の高さを実感しました。講演では、血糖値の変動による体への影響と、血糖値の乱高下を予防するポイントなどをお話させていただきました。また、普段食べている物に興味を持ってほしいという思いから、食品添加物に関する内容も組み込んでいます。この話は新しい分野でおもしろいと毎回好評をいただいています。糖尿病だけでなく、食品に関する話も楽しく学べるので、ぜひ健康セミナーにご参加ください。今後も病院に来院する患者様だけでなく、市民の皆様の「知りたい」にお応えできるよう努力していきたいと思っております。

「ふれあい看護体験2024」を開催しました

実習指導者会委員長 富樫 和代

令和6年8月5日(月)高校生2名に、血压測定や心音聴取、点滴体験などを、実習指導者による説明や実演の後、体験してもらいました。血压測定時に聴診器を動脈にあててコロトコフ音(上腕に巻いたマンシェットの圧を抜いていく時に動脈が流れ始める音)を聴取するところでは、聴き取りに難航していましたが、何度かするうちに音がわかり「聴こえた!」とうれしそうでした。また、患者さんに足浴をさせていただきました。42℃のお湯のバケツを準備し、石鹸でマッサージをしながら洗いました。患者さんからは「気持ちよかった」と言っていたが、高校生からは「看護師になりたい気持ちが強くなった」という言葉が得られました。関係者一同、看護師を目指すお二人にエールを送りました。



在宅重症難病患者へ向けた 非常用発電機の貸出について

経営企画室 中嶋 弘太

当院では、徳島県からの委託事業として「徳島県在宅重症難病患者非常用発電機配備点検」を行っており、当院を起点とした迅速かつ効率的な配備体制により、在宅人工呼吸器を利用する県内全ての難病患者さんに対して『災害時の停電に備えるための発電機』を配備し安心・安全な体制の確立を目指しています。

貸出後も、災害時に発電機が動かないということがないように、当院で一括して定期的なメンテナンスも実施しています。

対象者は徳島県内在住の指定難病、小児慢性特定疾病の患者さんであって、在宅で常時人工呼吸器を使用している方になります。

貸し出しにあたっては、利用希望患者さんのかかりつけ病院を通じて申請をだしていただく形になります。

貸出申請書などの様式は当院ホームページに掲載しておりますのでご活用ください。



貸出申請の様式はこちら⇒

(とくしま医療センター西病院ホームページ)

医学生の臨床実習

徳島大学医学部5年生 学生

独立行政法人国立病院機構とくしま医療センター西病院での実習は、非常に充実した経験となりました。西病院は、神経・筋疾患の基幹医療施設として、最新の医療を提供することに力を入れており、患者さんに対するきめ細やかなケアが印象的でした。

また、スタッフ間のチームワークが非常に良好であり、看護師や医師たちが親切に指導して下さる環境でした。困ったことがあればすぐに相談できる雰囲気があり、実習生としても安心して学ぶことができました。特に、指導医の先生のご指導のおかげで、臨床の現場での実践的なスキルを磨くことができました。先生の丁寧な説明と温かい励ましに支えられ、実習期間中も安心して学ぶことができました。

自然豊かな環境の中で、患者さんと密接に関わりながら実践的なスキルを磨くことができたこの実習は、私にとって非常に有意義なものでした。今後もこの経験を活かし、医療現場でのスキル向上に努めていきたいと思います。

彼がパラスポーツを辞めない理由 学術集会参加を支援して

内科 柏木 節子

令和6年6月22日(土)に「福島県看護会館みらい」において日本パラスポーツ看護学会の第6回学術集会が開催され、とくしま医療センター西病院の内科外来を通院している●●●●さん(97歳)がシンポジストとして招かれました。

●●さんは大分国際車いすマラソンに開催初期から参加し、連続出場記録を持っているパラアスリートです。脊髄損傷、胸部・腹部の幾度もの手術を乗り越え、現在は在宅酸素療法中ですが、「学術集会のシンポジストとしてパラスポーツを牽引したい」と福島県への旅行を決めました。学会出席の相談を受け、福島までの行程と酸素ボンベの手配、出発までの健康管理にも注意を払い、ご家族との綿密なやりとりを経て、無事に「パラスポーツを辞めない理由～車いすマラソン選手の立場から」という講演をやり遂げました。日本パラスポーツ看護学会はパラスポーツに取り組む人々の日常生活を支援する事を一つの柱としています。●●さんが97歳の今もパラスポーツを続けていくという意欲が、学術集会参加者のみなさんの心に響いた事でしょう。とくしま医療センター西病院は●●さんの「パラアスリートを辞めない理由」に賛同し、これからもその活動の支援を続けます。



外出行事がはじまりました!

療育指導室 和田 勇貴

今回、約4年ぶりに外出行事が再開しました。

療養介護病棟入所中の患者さん対象に計6回(5月16日・30日、6月13日・27日、7月11日・18日)各3~4名でお出かけを行いました。

行先はマルナカパワーシティ鴨島店・セリア鴨島店で、買い物を楽しみました。

久しぶりの外出先での買い物で、ウキウキされている方、黙々と買い物を行う方、時間が足りず焦りながら買い物する方など、院内ではあまり見ない患者さんの表情を見ることができました。患者さんからも「久しぶりに外にでられてよかった」「買い物ができて楽しかった」など、帰宅後も喜ばれている様子が伺えました。

短時間ではありましたが、少しでも外出をしたことで気分転換になったのではないかと思います。



吉本お笑いライブ2024を開催しました!

療育指導室 井内 香住

令和6年5月23日(木)に徳島県住みます芸人のみっとしーさんと徳島県応援芸人の中山女子短期大学さんをお招きして、吉本お笑いライブ2024を開催しました。

午前中には、すみれ病棟と1階病棟の患者さんの居室訪問を行いました。記念撮影を楽しまれる方や「ゴジカル!をいつも見ています」などお話を楽しまれる方など皆さん思い思いに交流を楽しまれていました。

午後からは、すみれ病棟と1階病棟の患者さん、一般病棟の患者さん、鴨島支援学校の学生さん、あすなる保育園の園児さんをお呼びしてデイケア棟にて吉本お笑いライブを開催しました。なんと、デイケア棟の会場には約80人のお客さんが集まり、会場は大きな笑いとお声に包まれました。

みっとしーさん、中山女子短期大学さん素敵な時間をありがとうございました!



のど自慢大会2024を開催しました♪

療育指導室 井内 香住



令和6年7月4日(木)デイケア棟にて、のど自慢大会2024を実施しました。

2年ぶりの開催ということで、出場された患者さんは歌の練習や衣装、演出などそれぞれが熱い思いとこだわりを持って準備をしてきました。

今年は、会場参加の患者さん13名と事前収録参加の患者さん4名の合計17名の患者さんが出場されました。話題の令和ソングや懐かしい歌謡曲、洋楽などそれぞれの患者さんの十八番を披露され、会場は大いに盛り上がりました。

また、今年は審査員が選ぶ5つの賞の他に、会場に参加されている患者さんが投票する『素敵な歌声だったで賞』を設けました。受賞された患者さんからは、「まさか自分が選ばれるとは思っていなかったから嬉しい」や、「素敵な歌声だったで賞」を受賞した患者さんからは「カラオケサークルで共に練習を頑張った仲間からの評価は本当に嬉しい」など喜びの声を聴かせてくださいました。

今後も、日々の療育活動で取り組んだことを多くの人に見てもらえるような機会を作っていきたいです。



とくしま医療センター西病院 川柳集「のうめ」を発行しました

療育指導室 和田 勇貴

この度、とくしま医療センター西病院川柳集「のうめ」ができました。

3月に実施した、川柳大会で皆様が投稿してくださった70句以上の川柳をまとめ冊子にしました。

「のうめ」という名前の由来は平成17年～平成25年まで、発刊されていた徳島病院俳句集「野梅」を活用させていただきました。また、題字や表紙等の梅の木は当院、事務部の職員に書いてもらいました。

皆様のご協力のおかげで発行することができました。今後も川柳が患者様の生活の楽しみの一つになればと思います。

川柳集「のうめ」については、デイケア棟に置いてありますので、ご興味のある方はいつでもお立ち寄りください。



大盛況!ファイヤーストーム2024!

療育指導室 藤田 瑞稀

令和6年8月2日(金)にファイヤーストーム2024(夏祭り)が開催されました。

約5年のあいだ会場での実施ができていませんでしたが、今年は日中での会場開催が実現し、大盛況となりました。ファイヤーストームは「青筍会」(患者会)が主催となり、夏の風物詩を味わう中で、患者さんや患者さんご家族、職員が親睦を深め楽しい思い出作りをすることを目的に実施している当院の夏の一大イベントです。模擬店では、たこ焼きやドーナツなどの飲食物の販売やゲームコーナーを設けて、「こんちゃんめくり」「サイコロゲーム」などを行いました。その中で「射的」が1番人気で盛り上がっていました。また今年はおやじバンドのカマンベールさん、阿波踊りのきらく連さんがゲストとして駆けつけてくださいました。カマンベールさんのライブでは親しみやすい曲が多く、いつの間にか鼻歌を歌ってしまうようなとっても心躍るライブでした。きらく連さんは2年連続でお越しくださり、今年は病棟巡回もしてくださいました。ベッドサイドで参加している患者さんも生の阿波踊り、鳴り物の音を聞いて「徳島の夏が来た!」と大変喜ばれていました。

ご家族と一緒に参加された患者さんもおられ、楽しいひとときを過ごしていただけたのではないのでしょうか。

皆様にとって、素敵な夏の思い出となっていれば幸いです。



吉野川市役所にて「あこがれの世界」展を開催しました

療育指導室 栗山 百合恵

令和6年7月8日(月)から19日(金)の期間、吉野川市役所東館市民ホールにてすみれ病棟 ● ● さんが制作された作品の展示会「あこがれの世界」を開催しました。

ベッド上で一つの作品を約2週間かけて、手作業で生地などもこだわり、色鮮やかなドレスを制作されています。

展示会ではメッセージボックスを設定し、来場していただいた方からの声を実際にお聞きすることができました。「実際に着てみたい」、「細かい工夫があって素晴らしいなどのお声を頂きました。沢山のメッセージを頂いたことで、次回の作品作りに向けての活力が湧いてくる展示会となったことでしょう。

ご来場いただき、また沢山のメッセージをありがとうございました。



外来診療案内

令和6年9月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	木村	齋藤	柏木	倉橋	足立※4 (予約制)	
消化器内科	木村		柏木			
脳神経内科一診	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口	
脳神経内科二診					堤	
外科					大畑	
整形外科			※1			
リハビリテーション科			高田※1			
放射線科	岡田					
外来リハビリテーション	高田	高田	高田※1	高田	高田	
専門外来	スポーツ整形外来 (午後)		岩瀬(毅)※2	岩瀬(毅)・岩瀬(稜) (予約のみ)※3		
専門外来・予約制	循環器内科(午後)			井内(予約制)		
	糖尿病外来			倉橋(午前)		
	筋ジストロフィー外来(小児科)		近藤・宮崎・渡邊		近藤・宮崎・渡邊	
	成人筋ジストロフィー定期診療外来				足立	
	パーキンソン病専門外来		武内	三ツ井	高原	三ツ井
	物忘れ外来		武内	三ツ井	高原	三ツ井
	禁煙外来					足立
	セカンドオピニオン外来 (脳神経内科)		脳神経内科医師			

※1 整形外科を受診希望の場合は、リハビリテーション科(水曜日)を受診してください。外来リハビリテーション水曜日午前以外の診察日は総合リハセンターでの診察となります。
 ※2 スポーツ整形外来(火曜日):初診の場合は予約制(電話予約のみ)です。再診の場合は受付順(受付時間は午後0時30分から4時30分まで)となります。
 ※3 スポーツ整形外来(木曜日):初診・再診とも予約制となります。初診は電話予約された患者様、再診は医師からの指示のあった患者様の診察となります。
 ※4 足立医師の外来は、予約制となります。

お知らせ(注意事項)

- ①受付時間は午前8時30分から午前11時までです。(受付時間以外の診療はお電話でご相談ください。)
- ②整形外科(水曜日)の受付は原則午前10時までです。
- ③外来リハビリテーションは再診のみです。初診の方はまずリハビリテーション科(水曜日)を受診してください。
- ④スポーツ整形外来は毎週火・木曜日の午後の診察になります。受診については上記※2(火曜日)、※3(木曜日)をご確認ください。
- ⑤筋ジストロフィー外来は予約制です。
- ⑥セカンドピニオン外来は主として脳神経内科の相談になります。(予約制)

交通案内

- JR鴨島駅からタクシーで約7分
- 徳島自動車道「土成インター」から
自家用車で約15分

案内マップ



(文責 広報部会)



独立行政法人国立病院機構
とくしま医療センター
西 病 院
四国神経筋センター

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354
 TEL 0883-24-2161(代表) FAX 0883-24-8661
 ホームページアドレス<https://tokushima.hosp.go.jp/>

発行年月 令和6年9月